

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	民生児童委員活動事業						担当部	健康福祉部																																														
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	福祉総務課																																														
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	庶務係																																														
	総合計画 分野別計画	主目的	2 保健・福祉		10 地域福祉		3 地域福祉活動団体などを支援します																																																
		副目的	10-2																																																				
	予算区分	款	3		項	1		目	1		大	3		中	1																																								
	根拠法令・個別計画	民生委員法、児童福祉法																																																					
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行うなど、市の地域福祉の一翼を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動の円滑化を図る。																																																					
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧市民生委員・児童委員連絡協議会に対し活動費を助成した。 ・全体会議や各地区(6地区)の連絡会議の調整や会場の予約・準備などを含め事務局として参加した。 ・平成25年度は、3年に1度の一斉改選の年であり、円滑に候補者を出していただくため、区長・民生委員と連絡調整し、全189名の委員候補について、民生委員推薦会での審議を経て、民生委員を推薦した。 ・新たに委員になった新任民生委員に対し、全体研修を行った。 ・活動実績を集計し、県に報告した。 <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>推薦委員報酬</td> <td>154,000円</td> <td>講師謝礼</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td>活動費</td> <td>8,040,044円</td> <td>旅費</td> <td>399,000円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>408,317円</td> <td>食糧費</td> <td>107,300円</td> </tr> <tr> <td>印刷費</td> <td>659,400円</td> <td>バス借上料</td> <td>141,750円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>11,000円</td> <td>補助金</td> <td>396,925円</td> </tr> </table> <p>◆26年度直接経費の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>推薦委員報酬</td> <td>162,000円</td> <td>講師謝礼</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td>活動費</td> <td>7,956,000円</td> <td>旅費</td> <td>173,000円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>10,000円</td> <td>食糧費</td> <td>11,000円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>660,000円</td> <td>バス借上料</td> <td>840,000円</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>393,000円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>														推薦委員報酬	154,000円	講師謝礼	20,000円	活動費	8,040,044円	旅費	399,000円	消耗品費	408,317円	食糧費	107,300円	印刷費	659,400円	バス借上料	141,750円	負担金	11,000円	補助金	396,925円	推薦委員報酬	162,000円	講師謝礼	20,000円	活動費	7,956,000円	旅費	173,000円	消耗品費	10,000円	食糧費	11,000円	印刷製本費	660,000円	バス借上料	840,000円	補助金	393,000円		
	推薦委員報酬	154,000円	講師謝礼	20,000円																																																			
活動費	8,040,044円	旅費	399,000円																																																				
消耗品費	408,317円	食糧費	107,300円																																																				
印刷費	659,400円	バス借上料	141,750円																																																				
負担金	11,000円	補助金	396,925円																																																				
推薦委員報酬	162,000円	講師謝礼	20,000円																																																				
活動費	7,956,000円	旅費	173,000円																																																				
消耗品費	10,000円	食糧費	11,000円																																																				
印刷製本費	660,000円	バス借上料	840,000円																																																				
補助金	393,000円																																																						
受益者負担	無																																																						

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	9,261	9,540	10,338	10,225	
		正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,630	2,630	2,630	2,630
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	11,891	12,170	12,968	12,855		
対前年比	%			102.3	106.5	99.1		
財源	一般財源	千円	11,891	12,170	12,968	12,855		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	連絡協議会等開催数	回	目標	—	—	—
実績				72	72	72	
業	民生委員・児童委員数 (主任児童委員含む)	人	目標	—	—	—	189
			実績	183	183	189	
績	相談・支援・活動等件数	件	目標	—	—	—	—
			実績	23,765	24,825	25,946	
業	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	委員1人あたりの活動日数	日	目標	—	—	—	—
実績			129	135	141		
績			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成25年度の達成状況	平成25年度は、民生・児童委員の一斉改選の年であったこともあり、新任委員に対する勉強会などを開催するなどして、地域における様々なケースに対応できるよう支援を行った。 従前と同様に、地区での会議や全体会議等を通じて、活動に際しての活動費を支給することにより、民生・児童委員の円滑な活動を支援することができた。	
	事業実施における課題	地域に、民生委員の支援が必要だと思われる方が増える一方で、当人が支援を希望されないケースにおいて、民生委員がどこまで関わるべきかの判断が難しい。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	地域住民にとって一番身近な相談者である民生・児童委員が不在となり、地域福祉活動の停滞につながるおそれがある。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	今までは、委員任期の中間年度に行っていた県外での全体研修を、今回より初年度に行うこととし、委員の識見の向上に努めるよう事業の見直しを図った。
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	各地域において、支援を必要とする方に対する支援に一定の成果をあげており、今後も継続して、民生・児童委員に対する支援を行うことが必要であると考えたため。	
	27年度以降の改善案	行政と民生・児童委員だけでなく、民生委員相互のつながりを強化するとともに、様々なケースに対応できるように、各地区における事例研究等の機会の充実が図れるように支援を行っていく。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。